

7 令和3年度各支部の活動状況（県南ブロック）

土 浦 市

1 土浦市教育研究会特別支援教育部

○ 令和3年度研究主題

「社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる資質や能力の育成を図る。」

○ 研究テーマ

「自立と社会参加をめざし、一人一人の「生きる力」を培う教育の充実」

2 事業内容

(1) 第1回土浦市特別支援教育研究部主任会（専門委員会） 10月12日（火）

（Google meet 使用のオンライン会議）

(2) 各中学校区交流学习

・土浦一・四中地区 11月2日（火）「ボッチャ」（土浦一中）

・土浦二中地区 （中止）

・土浦三中地区 11月30日（火）合同でのゲーム（霞ヶ浦文化会館）

・土浦五中地区 （中止）

・土浦六中地区 10月11日（月）合同校外学習（こもれび森のイバライド）

・都和中 12月15日（水）土浦特別支援学校とのキャリア交流会（都和中）

・新治学園地区 実施せず

(3) ナイスハートふれあいフェスティバルへの作品出展（下高津小が参加）

12月3日（金）～12月6日（月） ザ・ヒロサワ・シティー会館

(4) 手をつなぐ子らの作品展 11月22日（金）～28（金）〔土浦市民ギャラリー〕

土浦市内全小中学校、新治学園義務教育学校、土浦特別支援学校が参加

3 今年度の成果

○ 前年度までは、合同校外学習として、各中学校区での遠足を行っていたが、今年度はコロナ禍の中、中学校区ごとの交流学习を行うことにした。中止になった地区もあったが、実施した地区では、レクレーション等の役割を分担することで、参加した児童生徒が活躍できる場を設定することができた。他校児童生徒との交流を一日楽しむことができた。

○ 手をつなぐ子らの作品展は、コロナ禍の中開催が危ぶまれたが、管理当番及び記帳をなくすことで感染リスクを下げ、実施することができた。作品の作成に各校が熱心に取り組み、素晴らしい作品が展示され、好評だった。

○ 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と対応について、オンラインの講演、研究協議などを通して研修を深めることができた。

石 岡 市

1 石岡市教育研究会特別支援教育研究部 令和3年度活動目標

○ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を図る。

○ 豊かな人間性を育むための交流・共同学習を推進する。

2 事業内容

(1) 4月27日（火）市特別支援教育研究部研修会（本年度の活動計画についての協議）

(2) 8月 3日（火）市教育研究発表会 [中止]

- (3) 8月中旬 県南地区特別支援教育オンデマンド研修会にて研修
- (4) 12月3日(金) ナイスハートふれあいフェスティバル美術展出展
- (5) 1月中旬 石岡市手をつなぐ子らの作品展 各校にて実施
- (6) 2月下旬 市特別支援教育研究部研修会
(本年度の事業の反省と次年度の計画検討)
- (7) 3月中旬 石岡市手をつなぐ親の会広報誌「ひびき」発行

3 今年度の成果

- 手をつなぐ子らの作品展は各校で開催し、多くの参観者から賞賛を得ることができた。
- 県南地区特別支援教育オンデマンド研修会にて研修を積むことができた。
- 市特別支援教育研究部研修会コロナ禍における合同学習会の在り方を検討し、中学校区毎に開催することになった。
- 部員間の研修の場として、グーグルクラスルームを立ち上げた。

龍ヶ崎市

1 龍ヶ崎市教育研究会特別支援教育部 令和3年度研究テーマ

- 一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加できる児童生徒の育成をめざして

2 事業内容

- (1) 市教研重点部会開催 5月10日(月)
※本年度非重点のため、部長・副部長による協議にて内容決定
- (2) 実技研修会打合せ 6月16日(水)
- (3) 市特別支援教育実技研修会 7月30日(金) [大昭ホール龍ヶ崎]
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会を予定していたが中止
(※資料配付のみ)
講師 岩崎 早希先生 言語聴覚士・特別支援学校自立活動教諭(言語障害教育)
- (4) 特別支援教育研修会(交歓会、えがお展について)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
→(交歓会中止、えがお展各校にて実施へ変更)
- (5) 交歓会準備会・交歓会 11月30日(火)から12月1日(水) 中止
- (6) えがお展(各校にて開催へ変更) 1月27日(木) 作品搬入
1月28日(金)から1月30日(日)
2月1日(火) 作品搬出 [たつのこアリーナ]

※ 1月下旬から2月にかけて、各学校において作品展示及び保護者参観としたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2月いっぱい開催が難しくなった。
中学校区において統一した開催の延期や中止を検討する方向へ変更。

3 今年度の成果と課題

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な活動制限があった。
実技研修会については直前まで実施の方向で動き、講演会は中止となかったが、資料配付ができたことは、特別支援担当者の指導力向上につながりよかった。
オンライン配信の準備をしておくことが今後の課題である。

- えがお展は延期、もしくは中止の方向で検討することになっているが、各校特別支援学級の在籍児童には、作品づくりにおける参加賞の賞状を配布する。例年通りの実施はできなかったが、児童の頑張りを認める形にできたことはよかった。

取 手 市

1 取手市教育研究会特別支援教育部 令和3年度活動状況

- 令和3年度 研究テーマ

「児童生徒一人一人の理解と支援のあり方」

2 事業内容

- (1) 4月 9日 取手市教育研究会定期総会・部長会 [取手市役所藤代庁舎]
- (2) 5月・6月 特別支援教育研究部「新入生歓迎会」 [各小中学校]
- (3) 7月14日 特別支援教育研究部幹事会 [Zoomによるオンライン]
 - ・令和4年度組織確認
 - ・今後の活動内容の検討、確認
- (4) 9月28日 特別支援教育研究部研修会 [取手市役所藤代庁舎]
 - ・つばさ展について
 - ・卒業を祝う会について
- (5) 11月26日～12月6日 取手市美術展 [とりでアートギャラリー]
 - ・特別支援学級児童生徒の作品展示
 - ・[特別支援教育の部]としてコーナーを設ける。
- (6) 2月～ 卒業を祝う会 [各小中学校]
- (7) 2月1日 特別支援教育研究部運営会議 [取手市役所藤代庁舎]
 - ・今年度の活動の反省
 - ・次年度の活動計画案の作成

3 今年度の成果

- コロナ禍において、部員が参集できないので、オンラインでの協議を行った。部員全員が集まり、顔を合わせることも大切であるが、協議方法の幅が広がった。
- 取手市・守谷市・利根町の共催による「つばさ展」を各市町での単独実施と変更した。30回を超える伝統ある事業であったが、担当者の負担軽減、授業時間の充実・確保にもつながった。また、取手市美術展に参加することで、より多くの方々に覧てもらうことができた。
- 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と対応について、動画視聴・研修協議等で研修を深めることができた。

牛 久 市

1 研究テーマ

- 児童生徒一人一人のニーズに応じ、社会性を育成するための自立活動の工夫

2 事業内容

- 牛久市教育研究会総会 5月7日 ひたち野うしく中学校
- 第1回 特別支援教育部員研修会 7月 書面開催
- 中学校区夏季研究協議会 7月30日 各中学校区

- 県南地区 担当者研修会 8月19日 中止
- 中学校区スポーツ交流会 10月 中止
- 第2回 特別支援教育部員研修会 11月 中止
- ナイスハートふれあいフェスティバル作品展
12月3日～6日 ザ・ヒロサワ・シティ会館
- かがやき展（手をつなぐ子らの作品展） 2月中旬 各校開催
(中学校区でオンライン交流)
- 県南Bブロック冬季研修会 2月 中止
- 第3回 特別支援教育部員研修会 2月 オンライン開催
「年間活動のまとめ」作成，次年度への引継ぎ

つくば市

- 1 研究テーマ「一人一人のニーズに応じた支援の在り方を工夫した教育活動の推進」
- 2 事業内容
 - (1) つくば市教育研究会総会 (5月 書面決裁)
 - (2) 第1回代表部員会 (6月24日 オンライン開催)
 - (3) 第2回代表部員会 (7月16日 オンライン開催)
 - (4) 市教育研究会発表会 (8月3日 オンライン開催)
 - (5) 令和3年度第43回県南地区特別支援教育研究協議会並びに第24回茨城県特別支援教育連盟研究協議会 (8月19日 会場：県南生涯学習センター)
※コロナ禍のため、代替として動画視聴 令和3年8月16日(月)～8月20日(金)
茨城県県南教育事務所指導主事による講話「特別支援教育の現状と課題」
 - (6) 第3回代表部員会 (11月30日 オンライン開催)
 - (7) ナイスハートふれあいフェスティバル2021 (12月3日～6日 会場：ザ・ヒロサワシティ)
 - (8) つくば市手をつなぐ子らの作品展参加 (11月1日～1月31日 会場：各学園・学校にて開催)
 - (9) 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会 (1月20日 オンライン開催)
土浦特別支援学校特別支援教育地域相談センター長による講話「言語発達遅滞のある児童・生徒の指導」
 - (10) 第4回代表部員会 (2月 紙面報告)
- 3 令和3年度の成果
 - (1) 市教育研究発表会はオンライン開催、部会には約120名の参加があった。提案者のテーマに沿って、教育的ニーズに応じた指導、スキル習得やICT活用を通じた指導の工夫について研修を深めることができた。
 - (2) 手をつなぐ子らの作品展は、各校工夫され、約700名の児童生徒が参加できた。

守谷市

- 1 研究テーマ
「コロナ禍における通常の学級と特別支援学級の合理的配慮を踏まえた指導の在り方」
- 2 活動状況

- 第1回守谷市特別支援教育研究部会 4月28日(水) オンライン開催
組織づくり、年間活動計画作成
- GoogleClassroomを開室し、特別支援教育に関する情報交換 通年
- 県南地区特別支援教育研究協議会 8月16日(月)～8月20日(金)
講師「県南教育事務所：久保田千恵 指導主事」 オンデマンド視聴
- 広報誌「みらい」発行 10月1日(金)、12月17日(金)
- 第1回守谷市特別支援教育研究部研修会 11月26日(金) オンライン開催
講師「言語聴覚士：千本恵子先生」
- 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加 1月20日(木) オンライン開催
- 第2回守谷市特別支援教育研究部研修会 1月26日(水) オンライン開催
講師「筑波大学：小島道生先生」

稲敷市

1 令和3年度研究テーマ

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」。

2 事業内容

- 研究部会 → 中止
- 組織づくり、研修テーマの決定、活動計画立案 → 電話で連絡を取り合いながら決定
- 小学校部会「なかよし会」 → 中止
- 中学校部会「合同進路見学会」 → 中止
- 各中学校区特別支援学級の合同学習会(遠足) → 中止
- 県南地区特別支援教育研究協議会 → オンラインで開催
- 県南地区の特別支援教育担当者を対象とした電子会議室を開設
- 稲敷市・稲敷郡合同「手をつなぐ子らの作品展」 → 各校で、展示
令和4年1月20日(木)～1月27日(木)
- 「ナイスハートふれあいフェスティバル2021美術展」

令和3年12月2日(木)～12月6日(月) 会場；ザ・ヒロサワ・シティ会館

かすみがうら市

かすみがうら市教育研究会特別支援教育研究部では、下記の研修や行事に取り組んできた。

- 第1回研究部員研修会(組織、年間活動計画作成等)：5月 中止
- 令和3年度かすみがうら市教育研究発表会：8月6日(金) 下稲吉小
文書発表：かすみがうら市立下稲吉小学校 教諭 武藤 裕子 先生
かすみがうら市立下稲吉東小学校 教諭 大塚 玲子 先生
- 第2回研究部員研修会：8月 中止
- 県教育研究会研修集会：10月9日(土)
文書発表：かすみがうら市立下稲吉小学校 教諭 武藤 裕子 先生
- 特別支援学級中学校区合同校外学習
千代田中学校区：12月8日(火) 石岡市方面(今橋観光果樹園)※雨天のため中止
- ナイスハートふれあいフェスティバル美術展参加 県民文化センター
- 市「手をつなぐ子らの作品展」：1月17日(月)～31日(月)カスミ千代田店

- 県南地区自閉症・情緒障害部会及び知的障害部会：中止
- 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会：1月20日(木)ZOOM 配信
- 第3回研究部員研修会（今年度の反省と次年度の取組）：2月 中止

つくばみらい市

つくばみらい市教育研究会特別支援教育研究部では、下記の研修や行事に取り組んできた。

- 1 研究テーマ「児童生徒の能力を十分に生かす特別支援教育のあり方」
- 2 主な研修と活動
 - 研究部員会 7月2日(金) つくばみらい市立陽光台小学校
 - ・年間行事の検討
 - 部員研修会 8月16日(月)～8月20日(金) オンデマンド
 - ・茨城県県南教育事務所指導主事による講話「特別支援教育の現状と課題」の動画視聴
 - ナイスハートふれあいフェスティバル作品展 12月3日(金)～12月6日(月)
 - 市「手をつなぐ子らの作品展」
 - ・2月4日(金)～2月10日(木) きらくやまふれあいの丘

稲敷郡

- 1 令和3年度研究課題
 - 「児童生徒の実態に即した指導内容とその指導法の工夫」
- 2 事業内容
 - 研究部会 → 中止
 - 各中学校区特別支援学級の合同学習会（遠足）→ 中止
 - 県南地区特別支援教育夏期研究協議会（オンライン）への参加
 - 県南地区難聴・言語担当者研修会1月20日（オンライン）への参加
 - 稲敷市・稲敷郡合同「手をつなぐ子らの作品展」→ 各校で、展示
令和4年1月20日（木）～1月27日（木）（各校の実態に応じ変更可）
 - 「ナイスハートふれあいフェスティバル2021美術展」見学（各校）
令和3年12月2日（木）～12月6日（月） 会場；ザ・ヒロサワ・シティ会館
- 3 令和3年度の成果
 - (1) ほぼ全ての活動が中止またはオンラインでの開催となった。次年度からの事業についても、働き方改革の観点から見直しを図っていく。
 - (2) 手をつなぐ子らの作品展は、各校での展示となり、237名の児童生徒が参加した。

北相馬郡

- 1 研究テーマ

自立と社会参加を目指し、一人一人の「生きる力」を培う特別支援教育の実践
- 2 主な研修・活動
 - 町特別支援教育研究部会開催 <5月18日(火) 利根町立布川小学校>
 - ・部会組織の確認
 - ・テーマの決定

・年間活動計画の作成

- 町特別支援教育研究部会夏季一斉研修 <8月 6日(水) 町文化センター>
※新型コロナウイルスの影響により中止
- 利根町小中学校特別支援学級交流会
※新型コロナウイルスの影響により中止
- 利根町児童生徒作品展への出展
※新型コロナウイルスの影響により中止
- 利根町教育研究会発表会(一斉研修会) <2月18日(金) 町文化センター>
※新型コロナウイルスの影響により中止, 書面での報告